

<調査結果報告>

「新型コロナウイルス感染拡大による県内企業への影響調査」結果 ～8割の企業でマイナスの影響、観光・宿泊の売上見込みは半減～

2020年2月以降、全世界に急速に広がる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、生産活動の停止や出入国制限、活動自粛などを通して、国内外の経済活動に甚大な影響を与えている。

弊社では、三重県内企業の事業活動への影響を把握するため、県内企業に緊急アンケートを実施し、586社からの回答結果をとりまとめたので報告します。

【調査結果の概要・まとめ】

- 新型コロナウイルスの感染拡大により、自社の事業活動に「現時点でマイナスの影響が出ている」と回答した企業は39.1%、「今後マイナスの影響が出てくる可能性が高い」は41.3%となり、合わせて80.4%の企業がマイナスの影響があると回答した。
- 現時点で出ている影響と今後想定される影響の内容については、「受注・販売数量、売上の減少、予約のキャンセル」が最も高く、現時点が58.2%、今後が73.6%となり、業況悪化を懸念する企業・業種が拡大している。また、「仕入れの遅滞」や「仕入れの停止」を挙げる企業も多く、供給網の寸断の影響が明らかとなった。
- 業種別では、観光・宿泊や飲食サービス業でマイナスの影響が顕著である。この2業種の9割以上の企業が「現時点でマイナスの影響が出ている」とし、観光・宿泊の全企業、飲食サービス業の約8割が「受注・販売数量、売上の減少、予約のキャンセル」の影響を挙げた。他には「営業（稼働）日数・時間の減少」や「人手過剰」の影響も挙げられていた。これらの業種の影響は、食材等を供給する食料品製造業などにも広がっている。
- また、印刷業でも受注キャンセル等の影響、電気機械や一般機械器具製造業、建設業、卸売業、小売業などでは、中国等からの材料や部品、製品の仕入れの遅滞・停止の影響も大きい。
- 2020年2月・3月（見込み）・4月（見込み）の売上高は、全体平均値（前年同月比）で2月が4%減、3月が13%減、4月が15%減となり厳しさが一段と増す見込み。とくに観光・宿泊はほぼ半減し、飲食サービス業は約3割減、食料品製造業や卸売業も約2割減の見込みとなった。
- 従業員の勤務体制については、特に対応をしていない企業が6割弱を占めたものの、対応している企業では、正社員の休暇取得を通常時より推進する、パートやアルバイトの出勤日数・時間数を減らすなどの対応が多くみられた。観光・宿泊などでは一部雇止めもみられた。
- 影響に対して、何もできないとの声がある一方、国内生産・国内調達へのシフト、仕入品の前倒し発注、経費削減、投資延期、稼働抑制、雇用調整助成金や緊急融資の活用、外注業務の自社対応、顧客との折衝による仕入困難部品の仕様変更、web会議・商談、新分野・新規先の開拓など、リスクヘッジやマイナスを補うための対応を実施・検討する企業も多数みられた。

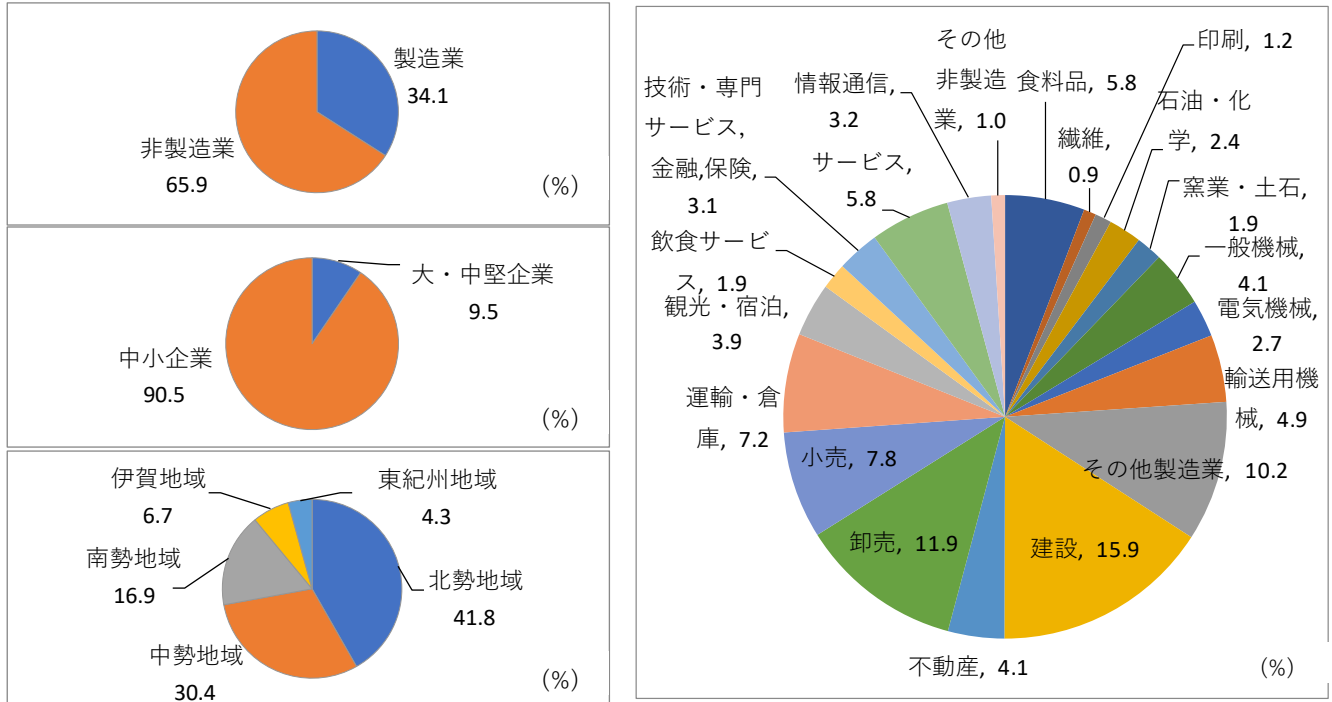
【担当】株式会社百五総合研究所 コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上（たにのうえ）
三重県津市岩田21番27号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

【調査の概要】

- 調査対象・回答数：三重県内の事業所 586 社
- 調査時期：2020年3月12日～3月23日
- 回答方法：FAX および web

【回答企業の属性】

◆業種別、規模別、地域別

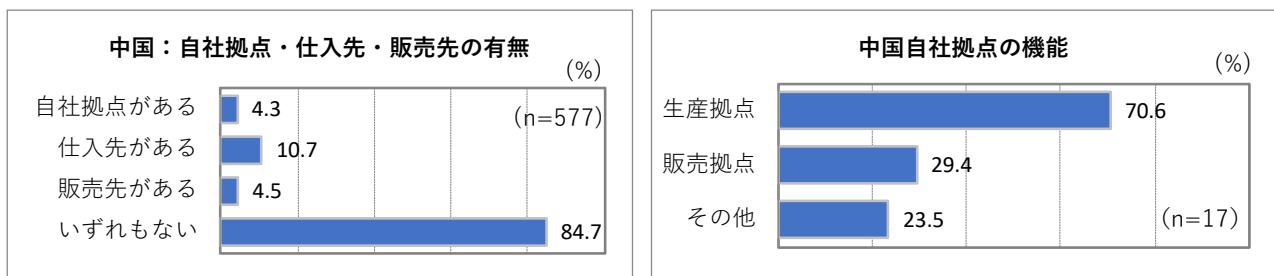


※ 資本金1億円以上を「大・中堅企業」、資本金1億円未満+個人事業を「中小企業」と定義。

◆業種別回答数・割合

業種	(件)	(%)	業種	(件)	(%)
製造業	200	34.1	非製造業	386	65.9
1 食料品製造業	34	5.8	10 建設業	93	15.9
2 繊維工業	5	0.9	11 不動産業	24	4.1
3 印刷業	7	1.2	12 卸売業	70	11.9
4 石油・化学工業	14	2.4	13 小売業	46	7.8
5 窯業・土石製品製造業	11	1.9	14 運輸業・倉庫業	42	7.2
6 一般機械器具製造業	24	4.1	15 観光・宿泊	23	3.9
7 電気機械器具製造業	16	2.7	16 飲食サービス業	11	1.9
8 輸送用機械器具製造業	29	4.9	17 技術・専門サービス業、金融業、保険業	18	3.1
9 その他製造業	60	10.2	18 サービス業	34	5.8
			19 情報通信業	19	3.2
			20 その他非製造業	6	1.0
			合計	586	100.0

◆中国における、自社拠点、仕入先、販売先の有無（複数回答）



【調査結果】

1. 自社の事業活動への影響の有無

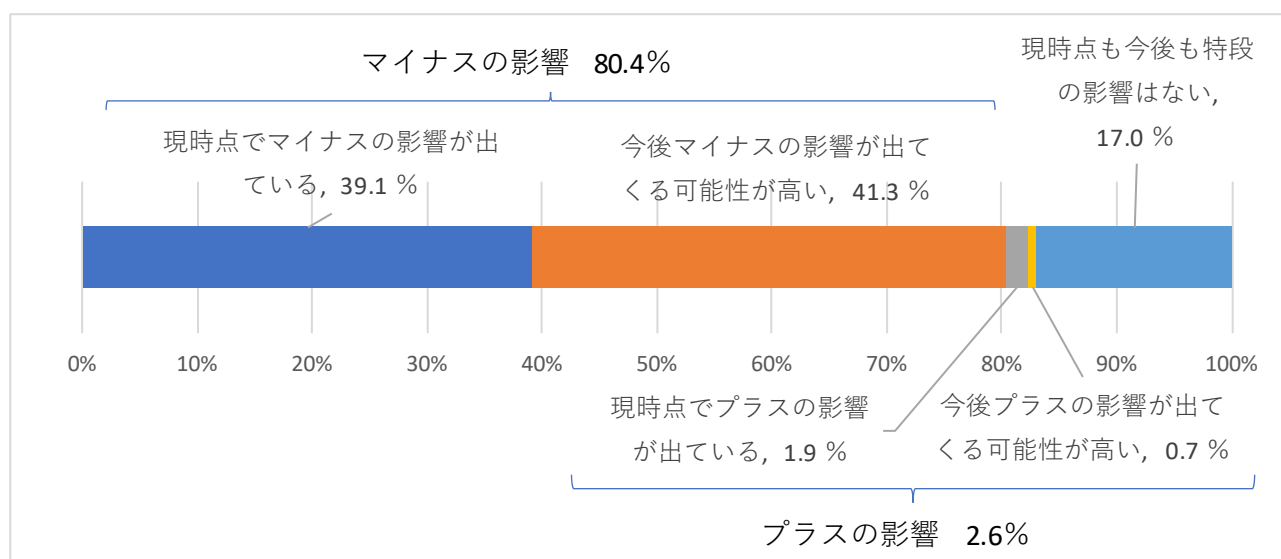
新型コロナウイルスの感染拡大により、自社の事業活動にどのような影響があるかについて、「現時点でマイナスの影響が出ている」が39.1%、「今後マイナスの影響が出てくる可能性が高い」が41.3%となり、マイナスの影響を挙げた企業の割合が80.4%にのぼった。

一方、プラスの影響を挙げた企業は、「現時点でプラスの影響が出ている」が1.9%、「今後プラスの影響が出てくる可能性が高い」が0.7%となり、合わせて2.6%となった。

「現時点も今後も特段の影響はない」は17.0%となった。

※ プラス・マイナス両方の影響がある場合は、より影響の大きい方を回答している。

■ 自社の事業活動への影響の有無



2. 自社の事業活動への影響の有無<業種別>

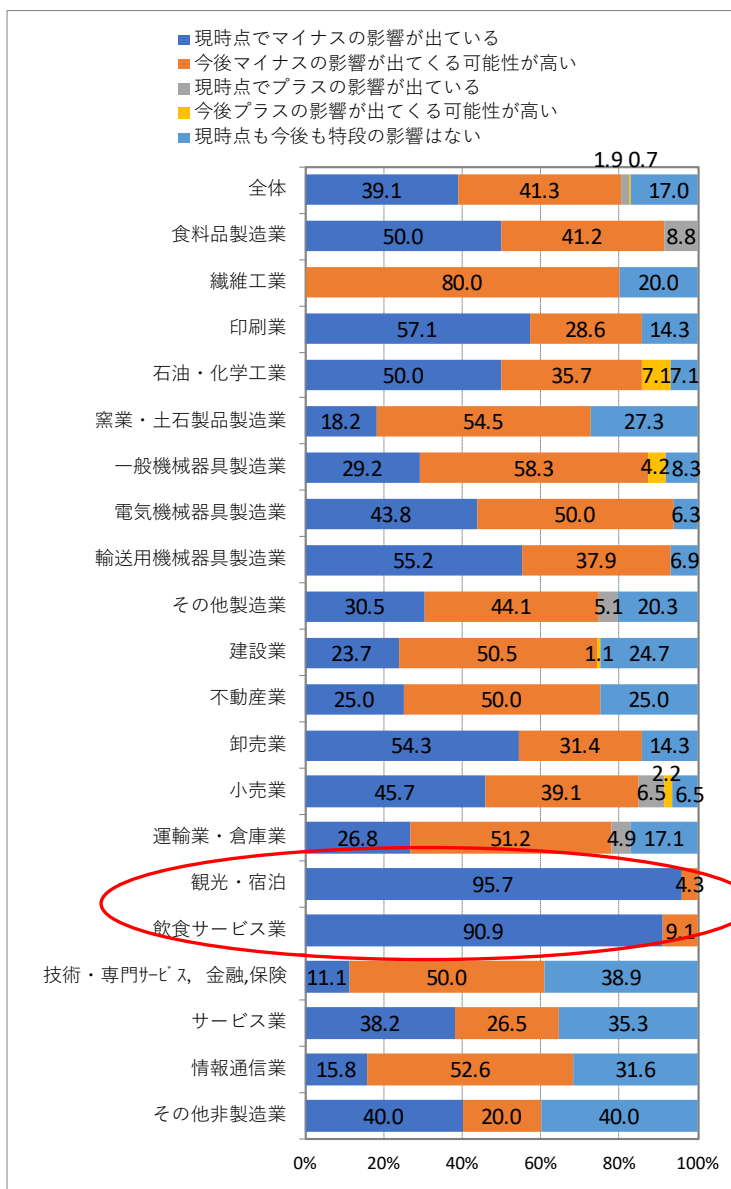
業種別に影響の有無についてみると、「現時点でマイナスの影響が出ている」が最も高いのは観光・宿泊で95.7%、次いで飲食サービス業が90.9%と、それぞれ9割を超え突出して高い。これらの業種では、「今後マイナスの影響が出てくる可能性が高い」も含めると、全回答企業がマイナスの影響を挙げた。

上記2業種に次いで「現時点でマイナスの影響が出ている」が高いのは、印刷業 (57.1%)、輸送用機械器具製造業 (55.2%)、卸売業 (54.3%)、食料品製造業 (50.0%)、石油・化学工業 (50.0%)で、それぞれ5割を超えた。

一方、「現時点でプラスの影響が出ている」企業は、わずかながら、食料品製造業 (8.8%)、小売業 (6.5%)、その他製造業 (5.1%)、運輸業・倉庫業 (4.9%) などで見られた。

また、「現時点も今後も特段の影響はない」が比較的高くかつ「現時点でマイナスの影響が出ている」が低いのは、技術・専門サービス業、金融、保険業、情報通信業などとなった。

■自社の事業活動への影響の有無<業種別>



3. 自社の事業活動への影響の内容

現時点で既に出ている影響と今後想定される影響の内容についてみると、現時点・今後ともに割合が最も高いのは、「受注・販売数量、売上の減少、予約のキャンセル」となった。現時点が58.2%、今後が73.6%となり、今後については現時点より+15.4ポイントと大きく上昇している。

とくに割合が高い業種は、観光・宿泊（現時点100%、今後100%）、飲食サービス業（81.8%、80.0%）、印刷業（80.0%、100%）などで、今後についてはほとんどの業種で6割以上となり、業況悪化を懸念する企業・業種が拡大している。

現時点・今後ともに次いで高いのは、「仕入れの遅滞」（現時点34.1%、今後34.0%）となった。また、「仕入れの停止」（12.4%、13.1%）も1割強となり、供給網の寸断の影響が出ている。

現時点でこれらの割合が高い業種は、電気機械器具製造業（遅延72.7%、停止18.2%）、建設業（67.9%、35.8%）、卸売業（48.1%、20.4%）、小売業（39.0%、9.8%）、一般機械器具製造業（38.9%、5.6%）などで、今後も高い割合となっている。

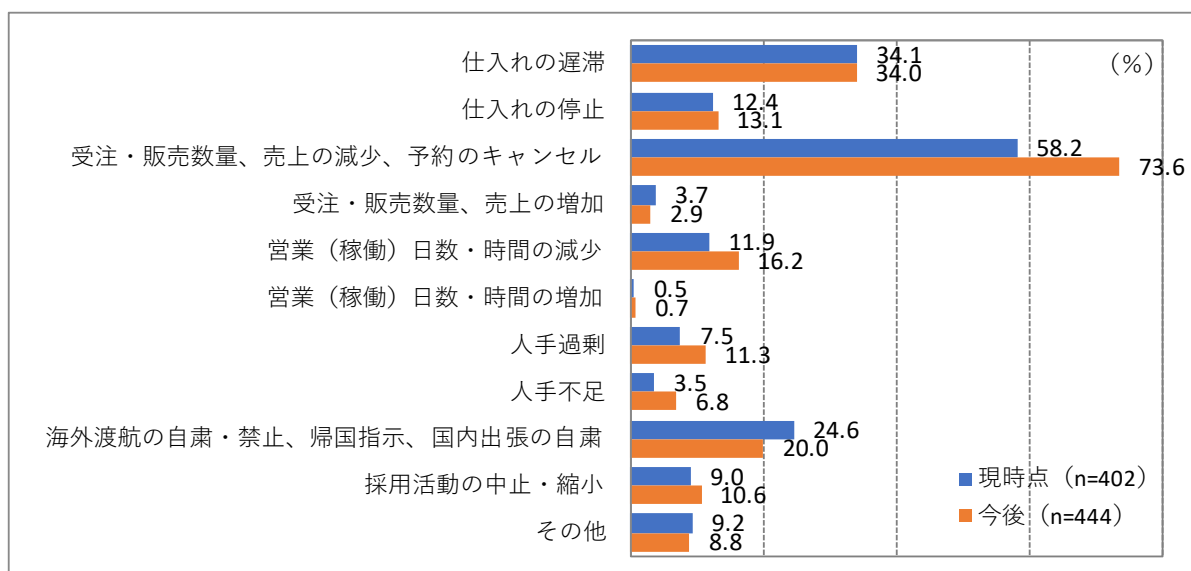
とくに、中国からの仕入れあるいは国内企業を通じた中国製の原材料や部品、製品の仕入れが、遅滞・停止しているケースが圧倒的に多い。中国からの仕入れが遅延・停止している品目としては、食材、加工食品、電子部品、金属、金型製品、木材、空調・電気設備・衛生設備器具などの住宅設備機器、マスク、アルコール消毒剤、シーツ等繊維品、パソコン、通信端末など多岐にわたっている。（※2月の貿易統計では、日本の中国からの輸入額は前年同月比47.1%減少）

なお、中国に自社拠点や仕入先がある企業に、今年2月と3月のその稼働状況（対前年比）をたずねたところ、3月は2月より改善しているものの、前年にはほど遠い状況となっている。

また、今後の割合が現時点より大きく上昇したのは、「受注・販売数量、売上の減少、予約のキャンセル」のほかに、「営業（稼働）日数・時間の減少」（+4.3ポイント）、「人手過剰」（+3.8ポイント）などで、いずれも、観光・宿泊、飲食サービス業で高い割合となった。

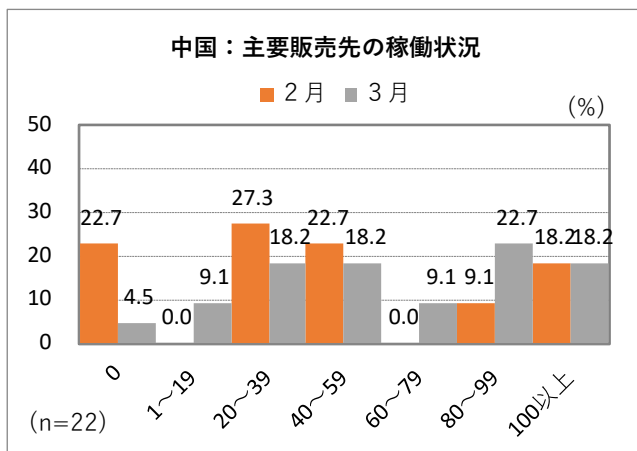
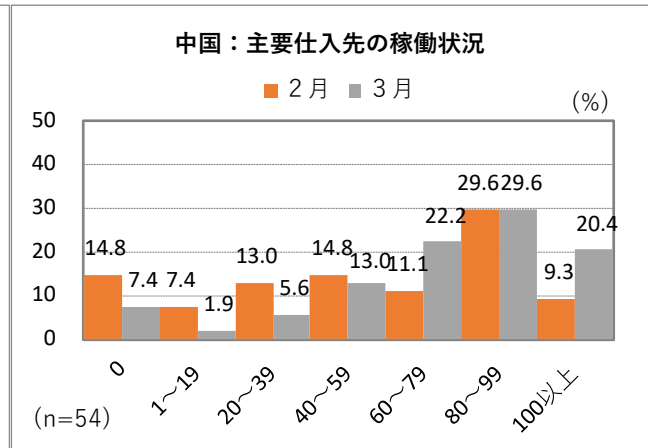
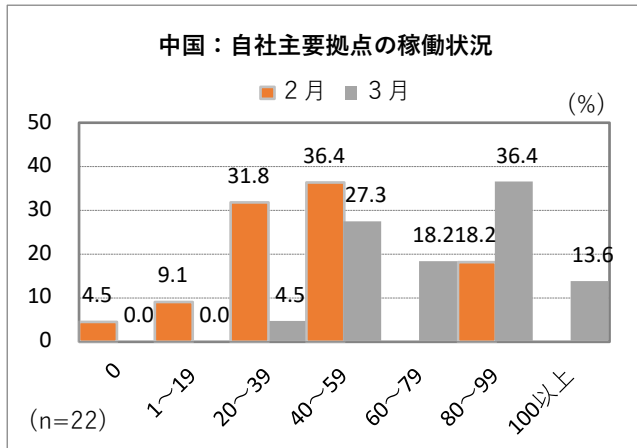
一方、現時点で「受注・販売数量、売上の増加」を挙げた企業は、食料品製造業、小売業、運輸業・倉庫業などでみられた。外食控えや休校に伴う内食（家庭内での食事）の増加によりスーパーや食品製造、食品輸送などで売上が増加している企業、中国製品の仕入遅滞に伴い代替生産の受注依頼が増加した企業、ウイルス対策製品を製造する企業では需要増で売上4割増を見込むものの、部材が揃わない・生産が追いつかないなどの声もみられた。

■影響の内容（複数回答） ※業種別の影響の具体的な内容については、p.10～11に記載。



影響の内容 (現時点)	合計	仕入れの 遅滞	仕入れの 停止	受注・販 売数量、 売上の減 少、予約 のキャン セル	受注・販 売数量、 売上の増 加	営業（稼 働）日 数・時間 の減少	営業（稼 働）日 数・時間 の増加	人手過剰	人手不足	海外への渡 航自粛・禁 止、帰国指 示、国内出 張の自粛	採用活動 の中止・ 縮小	その他
上段:件数 下段:%												
全体	402 100.0	137 34.1	50 12.4	234 58.2	15 3.7	48 11.9	2 0.5	30 7.5	14 3.5	99 24.6	36 9.0	37 9.2
食料品製造業	32 100.0	3 9.4	1 3.1	19 59.4	4 12.5	6 18.8	-	5 15.6	-	11 34.4	3 9.4	3 9.4
繊維工業	4 100.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	1 25.0	3 75.0	1 25.0	-
印刷業	5 100.0	1 20.0	-	4 80.0	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-
石油・化学工業	12 100.0	4 33.3	1 8.3	8 66.7	-	-	-	-	-	8 66.7	1 8.3	-
窯業・土石製品製造業	4 100.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0
一般機械器具製造業	18 100.0	7 38.9	1 5.6	9 50.0	-	1 5.6	-	2 11.1	-	14 77.8	1 5.6	-
電気機械器具製造業	11 100.0	8 72.7	2 18.2	5 45.5	-	-	-	1 9.1	1 9.1	5 45.5	-	1 9.1
輸送用機械器具製造業	23 100.0	5 21.7	2 8.7	12 52.2	1 4.3	1 4.3	-	1 4.3	-	10 43.5	1 4.3	4 17.4
その他製造業	36 100.0	12 33.3	4 11.1	23 63.9	1 2.8	5 13.9	-	4 11.1	2 5.6	11 30.6	2 5.6	1 2.8
建設業	53 100.0	36 67.9	19 35.8	13 24.5	-	3 5.7	1 1.9	1 1.9	3 5.7	5 9.4	8 15.1	5 9.4
不動産業	12 100.0	4 33.3	-	6 50.0	-	-	-	1 8.3	1 8.3	2 16.7	-	5 41.7
卸売業	54 100.0	26 48.1	11 20.4	37 68.5	1 1.9	6 11.1	-	2 3.7	1 1.9	8 14.8	4 7.4	4 7.4
小売業	41 100.0	16 39.0	4 9.8	25 61.0	5 12.2	3 7.3	-	1 2.4	1 2.4	7 17.1	6 14.6	2 4.9
運輸業・倉庫業	24 100.0	1 4.2	-	16 66.7	3 12.5	1 4.2	-	2 8.3	-	3 12.5	1 4.2	4 16.7
観光・宿泊	23 100.0	4 17.4	2 8.7	23 100.0	-	9 39.1	-	6 26.1	-	2 8.7	3 13.0	1 4.3
飲食サービス業	11 100.0	-	-	9 81.8	-	6 54.5	-	4 36.4	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1
技術・専門サービス業 金融業 保険業	7 100.0	-	-	4 57.1	-	2 28.6	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6	-	3 42.9
サービス業	18 100.0	4 22.2	2 11.1	13 72.2	-	3 16.7	-	-	2 11.1	-	1 5.6	1 5.6
情報通信業	11 100.0	4 36.4	-	5 45.5	-	1 9.1	-	-	-	1 9.1	2 18.2	1 9.1
その他非製造業	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-	3 100.0	-	-
影響の内容 (今後)	合計	仕入れの 遅滞	仕入れの 停止	受注・販 売数量、 売上の減 少、予約 のキャン セル	受注・販 売数量、 売上の増 加	営業（稼 働）日 数・時間 の減少	営業（稼 働）日 数・時間 の増加	人手過剰	人手不足	海外への渡 航自粛・禁 止、帰国指 示、国内出 張の自粛	採用活動 の中止・ 縮小	その他
上段:件数 下段:%												
全体	444 100.0	151 34.0	58 13.1	327 73.6	13 2.9	72 16.2	3 0.7	50 11.3	30 6.8	89 20.0	47 10.6	39 8.8
食料品製造業	31 100.0	6 19.4	1 3.2	24 77.4	-	7 22.6	-	4 12.9	3 9.7	8 25.8	4 12.9	4 12.9
繊維工業	4 100.0	1 25.0	-	3 75.0	-	-	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-
印刷業	6 100.0	1 16.7	1 16.7	6 100.0	-	2 33.3	-	-	-	1 16.7	2 33.3	-
石油・化学工業	12 100.0	4 33.3	-	9 75.0	1 8.3	3 25.0	-	1 8.3	1 8.3	7 58.3	2 16.7	1 8.3
窯業・土石製品製造業	8 100.0	2 25.0	1 12.5	6 75.0	-	-	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	-
一般機械器具製造業	22 100.0	9 40.9	3 13.6	17 77.3	-	4 18.2	-	3 13.6	-	14 63.6	-	1 4.5
電気機械器具製造業	12 100.0	7 58.3	1 8.3	9 75.0	-	4 33.3	1 8.3	3 25.0	-	2 16.7	-	1 8.3
輸送用機械器具製造業	24 100.0	7 29.2	1 4.2	19 79.2	8 8.3	5 20.8	-	4 16.7	8 8.3	10 41.7	8 8.3	3 12.5
その他製造業	42 100.0	15 35.7	3 7.1	30 71.4	-	5 11.9	-	7 16.7	3 7.1	9 21.4	3 7.1	2 4.8
建設業	63 100.0	37 58.7	17 27.0	34 54.0	1 1.6	3 4.8	1 1.6	2 3.2	6 9.5	3 4.8	10 15.9	2 3.2
不動産業	15 100.0	4 26.7	1 6.7	12 80.0	1 6.7	1 6.7	-	1 6.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7	3 20.0
卸売業	57 100.0	25 43.9	16 28.1	45 78.9	3 5.3	7 12.3	-	5 8.8	1 1.8	10 17.5	3 5.3	5 8.8
小売業	39 100.0	18 46.2	7 17.9	30 76.9	3 7.7	3 7.7	-	1 2.6	2 5.1	5 12.8	7 17.9	3 7.7
運輸業・倉庫業	28 100.0	2 7.1	-	18 64.3	2 7.1	2 7.1	-	3 10.7	3 10.7	4 14.3	1 3.6	5 17.9
観光・宿泊	23 100.0	5 21.7	2 8.7	23 100.0	-	10 43.5	-	9 39.1	-	3 13.0	4 17.4	1 4.3
飲食サービス業	10 100.0	-	-	8 80.0	-	6 60.0	-	3 30.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0
技術・専門サービス業 金融業 保険業	10 100.0	-	-	6 60.0	-	3 30.0	1 10.0	1 10.0	-	2 20.0	-	4 40.0
サービス業	22 100.0	5 22.7	3 13.6	17 77.3	-	6 27.3	-	1 4.5	4 18.2	1 4.5	3 13.6	1 4.5
情報通信業	13 100.0	3 23.1	1 7.7	9 69.2	-	-	-	-	-	1 7.7	2 15.4	1 7.7
その他非製造業	3 100.0	-	-	2 66.7	-	1 33.3	-	-	1 33.3	3 100.0	-	1 33.3

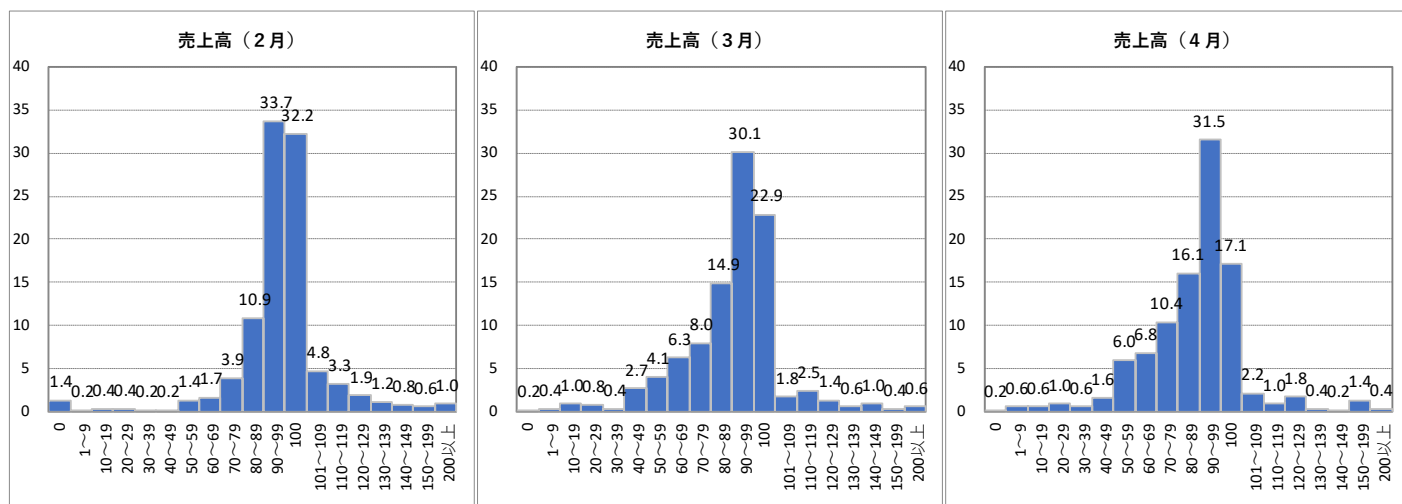
■中国における、自社拠点、仕入先、販売先の稼働状況



4. 2020年2～4月の売上高（見込み）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた、2020年2月・3月（見込み）・4月（見込み）の売上高（前年同月=100）はいずれの月も「90～99」が最も高くなり、全体中央値でみると2月は97、3月は90、4月は90となった。

■ 2・3・4月の売上高（見込み、対前年同月比）



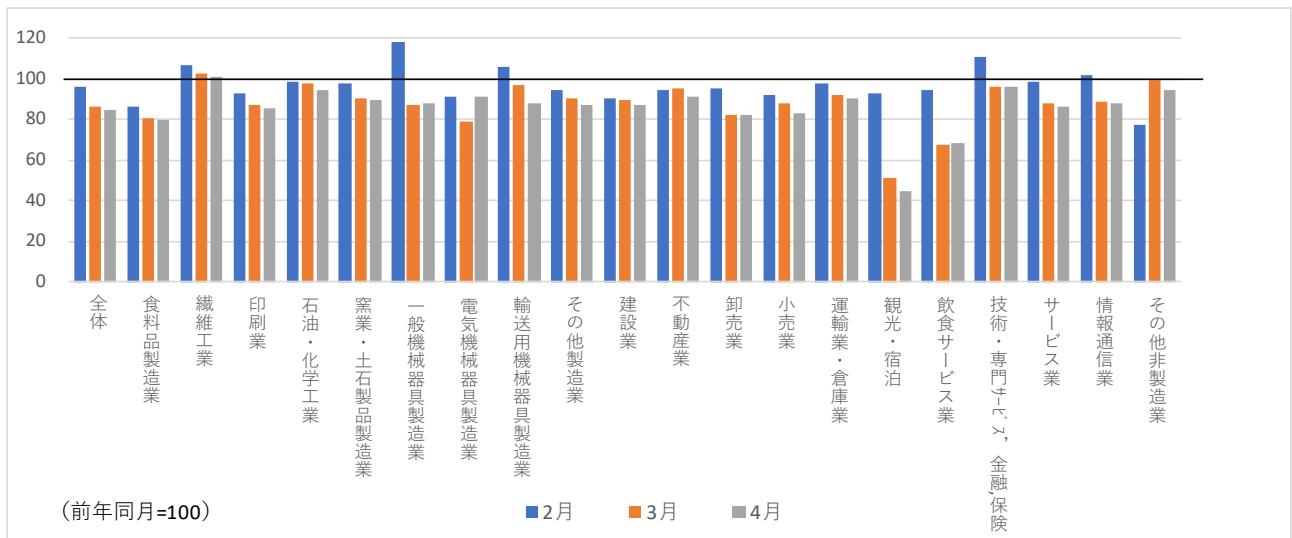
全体平均値でみると、2月が96（4%減）、3月が87（13%減）、4月が85（15%減）となり、3月、4月と大きく落ち込む見込みとなった。

これを業種別にみると、落ち込みがとくに大きいのは、観光・宿泊と飲食サービス業である。観光・宿泊は、2月が93にとどまったものの、3月は51とほぼ半減、4月は45となり55%減少の見込みとなった。飲食サービス業は、3月が68、4月が69でともに約3割の減少見込み。また、食料品製造業や卸売業も3月、4月は約2割の減少見込みとなった。

■ 2・3・4月の売上高（見込み、対前年同月比、平均値）＜業種別＞

	2月	3月	4月
全体	96	87	85
食料品製造業	86	81	80
繊維工業	107	103	101
印刷業	93	88	86
石油・化学工業	99	98	94
窯業・土石製品製造業	98	90	90
一般機械器具製造業	118	87	88
電気機械器具製造業	91	79	91
輸送用機械器具製造業	106	97	88
その他製造業	94	90	87
建設業	90	90	87
不動産業	94	95	91
卸売業	96	82	83
小売業	92	88	83
運輸業・倉庫業	98	92	90
観光・宿泊	93	51	45
飲食サービス業	94	68	69
技術・専門サービス、金融、保険	111	96	96
サービス業	98	88	86
情報通信業	102	88	88
その他非製造業	77	99	95

※前年同月=100

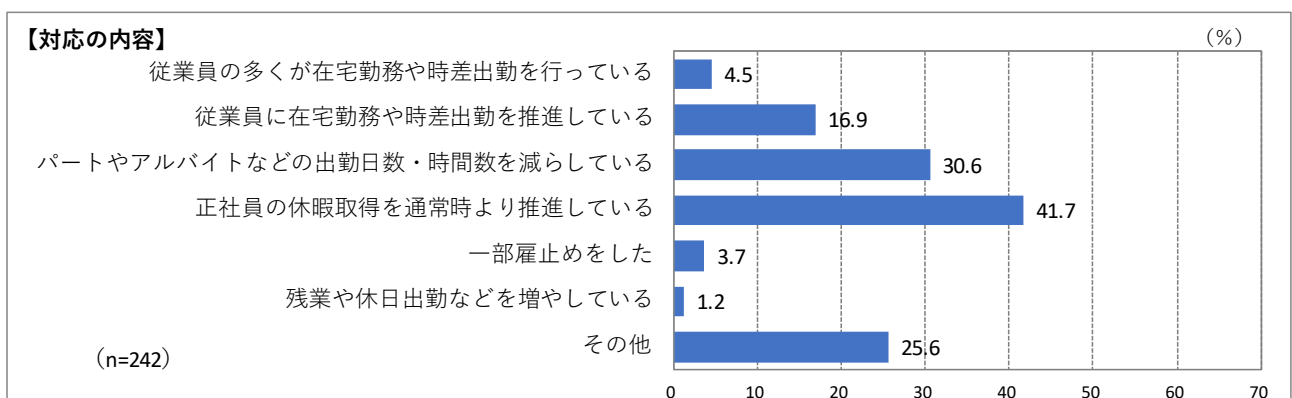
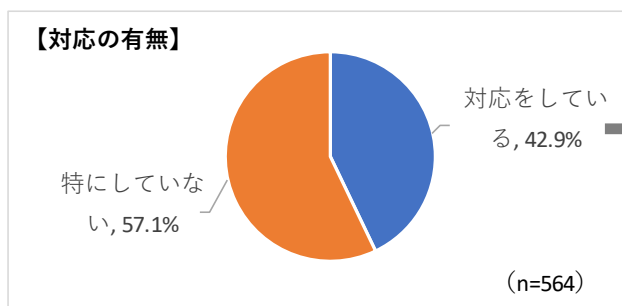


5. 従業員の勤務体制等に関する対応

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、従業員の勤務体制等に関して何らかの対応を行っているかについて（近々行う予定がある場合はそれも含める）は、「対応をしている」が42.9%、「特にしていない」が57.1%となった。

対応の内容については、「正社員の休暇取得を通常時より推進している」（41.7%）が最も高く、次いで「パートやアルバイトなどの出勤日数・時間数を減らしている」（30.6%）となった。「その他」（25.6%）では、感染予防策の励行、体調不良時の自宅待機期間や子どもの臨時休校等に伴う欠勤中の給与保障の整備・特別休暇対応、子連れ勤務の許可、感染者や濃厚接触者が発生した場合の体制整備などの対応を行う企業がみられた。また、「一部雇止めをした」（3.7%）は、観光・宿泊、食料品製造業などでみられた。

■ 従業員の勤務体制等に関する対応



※複数回答

◆マイナスの影響の具体的内容（自由記述より）

■食料品製造業

- ・ 観光地、宿泊施設、外食産業向けの受注が激減。
- ・ 土産物店、道の駅、ドライブイン、大都市の居酒屋、ギフト商品などの受注減少。
- ・ 食材の仕入れの遅延・入荷不可。イベント等の中止で弁当予約のキャンセル。
- ・ 中国産にんにくから国産にシフトする動きが増え、原料となる国産にんにくの価格が高くなる。
- ・ 中国現地の仕入先の人手不足で生産に遅れ。（海藻）
- ・ 中国の仕入先からの仕入れが一時期遅れたが、ほぼ回復。（肥料）

■繊維工業

- ・ 外国人（労働者）が入国できず人手不足となっている。

■印刷業

- ・ イベント等の中止で看板、ポスター等印刷物の注文がキャンセル。中国からの材料の仕入れが遅滞。

■石油・化学工業

- ・ 美容製品の受注量が減少。
- ・ 原料調達が遅れ、新製品の発売を1年延期。空間除菌剤の新規受注で売上増も人手が足りない。

■窯業・土石製品製造業

- ・ 飲食店向けの業務用陶磁器の発注がストップ。出張自粛で契約延期・新規事業進捗に遅れ。
- ・ 建築、自動車関連の販売不振で受注に影響。（硝子繊維）
- ・ 資材の輸入遅延に伴う国産資材の使用で仕入コストが増加。

■一般機械器具製造業

- ・ 鋳物加工製品、機械部品、制御機器などの仕入れが遅滞。
- ・ 物流（とくに航空便）の不正常による輸出入部品の納期遅延。
- ・ 今後、市場の縮小に伴い設備投資意欲の減退を懸念。

■電気機械器具製造業

- ・ 台湾製部品の仕入れ遅延、中国製電子部品の仕入れ停止。バス新車需要の減少による電装品の売上減少。
- ・ 観光・宿泊関連施設の設備投資の中止で売上が減少。
- ・ 現時点では若干の仕入れ遅延程度で済んでいるが、世界的な消費の冷え込みによる投資の減退を懸念。

■輸送用機械器具製造業

- ・ 中国製部品の代替生産の引き合い・受注もあり、今後については、影響はプラスかマイナスかまだわからない。
- ・ 現時点では生産にほぼ影響はないが、OEM先や仕入先の状況次第であり先行き不安。
- ・ 中国からの仕入れが遅滞する中、納期遅れの予防策として別途国内で部品を二重発注。コスト見合わず結果、赤字生産となっている。
- ・ 為替差損の発生、株式下落で評価損が発生。
- ・ 世界の自動車販売台数の減少、自動車の減産による、部品受注の減少を懸念。

■その他製造業

- ・ イベントや式典中止で受注のキャンセル。オリンピック需要を見込んでいたが先行き不安。
- ・ 農業・水産業向けの業務用木箱の受注が、外食産業の悪化に伴い減少。
- ・ 顧客である宿泊施設で相次ぐ宿泊キャンセルで、リネン類の受注が減少。
- ・ 現時点では、顧客の海外生産拠点の代替対応で、特需が出ており売上は増加しているが、今後は自動車部品メーカーの減産による受注減を懸念。（工業用包装容器）
- ・ 現時点では特に影響はないが、今後、自動車部品の生産が減退すれば梱包材の受注にも影響。
- ・ 中国の仕入先に定期的に出向いて行っていた品質検査が、渡航自粛でできないため品質の安定が難しい。（農業機械関連部品）

■建設業

- ・ 中国製の機材が入荷せず工事が延期。売上が2～3割減少。
- ・ トイレ、キッチン、バス、室内ドア、空調機器、換気扇など、住宅設備機器の中国からの仕入れが停止（納期未定）し、住宅の完成および新規契約が遅れている。手の打ちようがない。
- ・ 今後、企業の建設投資の抑制を懸念。
- ・ イベント自粛で新規客への営業の場が絶たれ、今後3～4か月後の受注に影響が予想される。
- ・ 就職・転職説明会が中止となり、採用活動に影響が出ている。

■不動産業

- ・ 貸し会議室の予約キャンセル。住宅展示場等への来場の自粛。
- ・ 今後、土地の売買への影響。また、テナント休業で賃貸料の減額要請が出る可能性。

■卸売業

- ・ 病院内での営業活動の禁止。（医療機器）
- ・ 学校給食のキャンセル、宿泊施設、飲食店からの受注減。（食品）
- ・ 例年、香港で開催されるジュエリーショーの中止で売上が確保できない。海外取引できない。（真珠）

■小売業

- ・ 集客につながる物産展の中止。新卒採用活動、新卒研修等の中止。
- ・ 医療機関への受診減少に伴い、来局患者が減少。（調剤薬局）
- ・ 来店客の減少で、新車の販売・受注が減少。
- ・ 購買意欲の減退。車両修理等の予約の延期・キャンセル。
- ・ 採用セミナー等の中止に伴う人材確保の遅れ。

■運輸業, 倉庫業

- ・ 貸切バス、旅行等のキャンセルでバス運転手は1か月の休暇対応。売上は2月が前年比1.7倍だったが、3～4月は2～3割に激減。
- ・ イベント、出張、外出等の自粛で鉄道旅客数と売上が大幅に減少。
- ・ 現時点では海外向け引越しのキャンセルがあるが、4～6月は回復を見込む。
- ・ 荷主の生産調整で、輸送量の減少を見込む。

■観光・宿泊

- ・ 観光客数、宿泊客数が激減。
- ・ 営業自粛を受けて臨時休園。再開できたとしても客数の減少は続く見込み。
- ・ 2～4月の宿泊キャンセルが約2,600人。約3,000万円の損失。
- ・ 団体客がメイン。予約キャンセルが、2月1,200人、3月4,600人、4月3,400人と相次ぎ、全く売上の目処が立たない。（土産、飲食）
- ・ 4～5月のバーベキュー予約のキャンセル。
- ・ ビュッフェ形式の食事提供の中止。

■飲食サービス業

- ・ 観光客の減少で売上減。
- ・ レストランの団体予約が前年比7割減。
- ・ 団体客の予約キャンセル。個人客の来店数も減少。

■技術・専門サービス業、金融業, 保険業

- ・ 今後、顧問先の業績悪化に伴う売上高の減少を懸念。

■サービス業

- ・ 結婚式・披露宴、宴会のキャンセル・縮小。卒業式衣装のキャンセル。
- ・ 卒業式などの中止でヘアメイクのキャンセル。平日子どものいる女性の来店数の減少。
- ・ 主要顧客であるホテルの稼働率低下で、リネン類の売上減。
- ・ 大型集客施設の閉鎖に伴う警備業務のキャンセル。それらの社員の給与補償の実施。

■情報通信業

- ・ イベントや番組収録の中止。
- ・ イベント等の営業活動や企画提案が行えず、売上の目処が立たない。
- ・ 通信機器等の不足が発生すれば、新規契約の減少につながる懸念。

以上